

新生児聴覚検査でリファア(要再検)となつたお子さんの保護者の方へ

お子さんのご誕生おめでとうございます。

待望のお子さんの誕生に喜びを感じつつも、この度の新生児聴覚検査の結果を聞いて、不安を感じておられることと思います。少しでもみなさまのお役に立てればという願いを込め、今この時期にお伝えしたいことやよくあるご質問についてご紹介します。

リファアとは？

「精密検査が必要」という結果を示すものです。きこえない、きこえにくいことを意味するものではありません。

診断がつくまでの過ごし方ー子どもとどのように接したらよいの？

お子さん一人一人、診断が確定する時期は異なります。必要な検査を繰り返したり、発達をみながら判断していくためです。そのため、何度か受診が必要になります。

この間、もしきこえていなかったら…と子どもとの関わり方に戸惑うこともあるかもしれませんが、特別なことは何も必要ありません。

今この時期に大切なことは、たっぷりと愛情を注ぎ、たくさん話しかけてあげることです。これは、きこえていても、きこえていなくても同じです。お子さんに話しかける時は、しっかりと目を見て話しかけてあげましょう。

また、ご家族がお子さんと一緒に楽しい時間を過ごし、笑顔で接してあげることもお子さんの心身の発達に良い影響を与えます。今しかないこの時間をお子さんと一緒に楽しんでください。



精密検査を待つ間、不安な気持ちになることもあるでしょう。一人で抱えず、お住まいの市町村の保健師や聾学校、鳥取県きこえない・きこえにくい子どものサポートセンター『きき』へ、いつでもご相談ください。

これから必要な検査について

①再確認検査

生後間もない時期の検査は、脳の発達が充分ではない場合などで検査の反応が得られないこともあるため、時期において再度確認検査を行い、精密検査の必要性を判断することもあります。実施の有無は担当医師へお尋ねください。

②先天性サイトメガロウイルス検査

きこえの状態に影響をもたらす原因は様々ですが、「サイトメガロウイルス感染症」を原因とする難聴である場合、早期診断、早期治療により、聴覚や発達面の改善が期待できる場合があります。診断には、生後21日以内の検査が必要です。検査は赤ちゃんの尿を採取して行います。

③精密検査

耳鼻咽喉科において、きこえの状態を詳しく確認するための検査を行います。(受診していただく精密検査医療機関(耳鼻咽喉科)は、新生児聴覚検査を受けた医療機関から紹介があります。)

眠った状態でイヤホンで音を聞かせて脳波を調べる検査(ABRやASSR)と、音刺激に対する反応の様子を確認する検査(BOAやCOR)を組み合わせで診断します。

精密検査の結果が分かったら…

精密検査の結果、きこえない・きこえにくいことがわかった場合、早期に療育を開始することにより、お子さんの言語発達を促すことができます。精密検査医療機関から療育(教育)機関をご紹介します。また、これからのことについて、必要な情報をお伝えしていきます。

<相談窓口>

| 名称 | 概要 |
|--|--|
| 鳥取聾学校 (〒680-0151 鳥取市国府町宮下 1261) (TEL) 0857-23-2031 (FAX) 0857-27-8606 | ○乳幼児教育相談 ○歳児から5歳児までのきこえない、きこえにくいお子さんの相談・支援を行っています。 |
| 鳥取聾学校ひまわり分校 (〒683-0004 米子市上福原 7-13-1) (TEL) 0859-23-2810 (FAX) 0859-23-2813 | |
| 鳥取県きこえない・きこえにくい子どものサポートセンター『きき』 (〒680-0853 鳥取市桜谷 173-21) (TEL) 0857-50-0170 (FAX) 0857-50-0176 ※中部、西部への出張相談も行っています。 | ○お子さんのきこえを心配されているご家族からの相談に幅広く対応し、必要に応じて適切な関係機関へお繋ぎします。 ○きこえない・きこえにくい子どもの子育て経験者や当事者である、相談員、支援員もいます。  |
| お住まいの市町村窓口 | 市町村からの赤ちゃん訪問があります。育児についてのご不安等、お気軽にご相談ください。 |